

牛久：学校周辺に見る自然

第9号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年5月12日発行

＜ みずべ公園で、春の生きもの観察。～⑥その他の動物 ＞



4月15日16日、ひたち野うしく小4年生とのみずべ公園、春の生きもの観察。最後にその他の動物。

まずは、いつも人気のカナヘビ。カナヘビと言えば長い尾が特ちょうの一つですが、今回もずいぶん長い尾を持ったものが見つかりましたね。持ち方もそれぞれでしたが、どんな持ち方をするとカナヘビは落ちついていられるでしょうね？ 顔をアップで見ると、「小さな恐竜きょうりゅう」のようにも見え、人気があるのも分かるような気がします。2校時目ころだと、まだ岩の上や低い木の葉の上、ブロック塀べいの上などで日なたぼっこしていることも多いですが、これはお日さまに当たってある程度まで体が温あたまらないと動けないからなのです。カエルなども同様で、とても大切なことなのです。中学生になると勉強どうようしますから、楽しみにして下さい。

長い尾が特ちょうのカナヘビ。顔はまるで恐竜のよう。



まっ黒で小さな、ヒキガエルのおたまじゃくし。

さて、池にはヒキガエルの小さなおたまじゃくしがたくさん泳いでいました。口には歯なかのようなものがあり、お腹にはうずまきなもようがあります。これはおたまじゃくしの食べ物と関係ありますが、何を食べていると思いますか？ また、数えきれないほどのおたまじゃくしですが、この中でおとなのカエルそだまで育つのは何ひきくらいだと思いますか？ 調べてみましょう。 【理科支援員：宮内】